



「エコ・ファーストの約束」の  
進捗状況について

---

**2022**

# エコ・ファースト制度における約束を更新

「エコ・ファースト制度」とは、自らの環境保全に関する取り組みを企業が環境大臣に約束し、それを受けて環境大臣が環境先進企業であることを認定する制度です。

タケエグループは2008年に、産業廃棄物処理業界における第1号として認定を受けて以来、制度の規程に基づき定期的に約束を更新しています。2022年に4回目となる約束を環境大臣と取り交わしました。



## エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

令和4年10月31日

環境大臣 西村 明宏 殿

株式会社タケエ 阿部 光男  
代表取締役社長

「総合環境企業」を目指すタケエグループは、企業と社会がともに持続的成長が可能な未来を実現するべく、以下の取り組みを進めてまいります。

### 1. 高度循環型社会の実現に貢献します。

- タケエグループは事業領域と事業地域を拡大させ、保有する技術をさらに向上させることで廃棄物の静脈バリューチェーンを強化し、廃棄物の処理に関するお客さまのさまざまな課題解決に取り組みます。
- 動新企業との協業並びに高度な選別技術や再資源化技術を実装する設備により、未利用資源の製品化/付加価値化を進め、環境負荷低減に向けたリサイクルスキーム構築を推進します。未利用資源の製品化/付加価値化の具体例として、製鉄副資材「エコ・フォーム※1」や発電燃料「RPF※2」などの製品の製造を強化し、資源の有効活用による最終処分場の延命化やエネルギー自給率の向上に寄与します。このような製品の製造量について、2026年までに2020年比30%アップを目指します。
- 書類の電子化を進めペーパーレス化による排出抑制を図るなど、オフィス内の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進します。

### 2. 脱炭素社会の実現に貢献します。

- 海外輸入材に頼らない「森林一体型」と「都市型」の木質バイオマス発電により再生可能エネルギーを創出します。森林一体型木質バイオマス発電は地域社会に根ざした持続可能な発電スキームとして東北地方の地元森林組合や素材生産者等と連携した森林経営（計画、段階伐採、植林）への取り組みを強化し、山林の保全育成と燃料材の安定調達の両立を目指します。都市型木質バイオマス発電は建設現場から発生する廃棄物からグループ内で製造した木質チップ燃料やRPFを利用して発電した電力を建設現場へ供給することで廃棄物を電気として地域社会へ戻すエネルギーリカバリーとしての取り組みを推進します。
- リサイクルニーズが高まる太陽光パネルのリサイクル事業化や木質バイオマス発電事業から排出される「バイオマス焼却灰」及びそれを加工した「再生砕石（RC材）」にCO2を吸収させるCCUS技術の研究開発を推進し、廃棄物処理事業を通じて脱炭素社会実現へ寄与します。
- 建設系産業廃棄物処理業者として業界内でも先駆けて「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」に賛同し※3、シナリオ分析の実施によるリスクと機会、Scope1・2・3に分類した温室効果ガス排出量など、気候変動にかかわる情報開示を積極的に行っています。
- 「再エネ100宣言 RE Action」及び「気候変動イニシアティブ」へ参加することで事業における脱炭素化を一層推進し、2050年までに自社の事業活動におけるCO2排出量実質ゼロを実現します。また、先行して2026年までに自社の使用電力に関してカーボンニュートラルを目指します。

### 3. 地域や社会に根ざした環境活動を推進します。

- 清掃活動や植林活動など地域住民や地元行政と連携・協働して環境活動を推進すると共に、社員に対しても環境活動に参加する機会を継続的に提供し、社員一人ひとりの環境意識向上に寄与します。
- タケエグループの取り組みを、地域住民をはじめとするステークホルダーの皆さまに広く知っていただくため、工場見学を定期的に行います。また、子どもたちがゴミの分別や再生可能エネルギーの知識を学ぶことができる環境学習の場を提供します。

※1 「エコ・フォーム」とは、再資源化が難しくその多くが埋立処分されていたダスト（粉じん）を他の廃棄物と混合し成型したもので、製鉄工程の「転炉」における添加材（フォーミング補助材）として利用されます。製鉄メーカーと共同開発し、2009年に特許を取得しています。

※2 「RPF」とは Refuse derived paper and plastics densified Fuel の略称であり、主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙及び廃プラスチック等を主原料とした高品位の固形燃料です。RPFは石炭に比べると、同一熱量収得時に約33%CO2排出量削減効果があります。（出典：一般社団法人日本RPF工業会）

※3 「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」には親会社であるTREホールディングス株式会社が賛同しており、子会社であるタケエを含めて取り組みを推進してまいります。

タケエグループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。



# 2022年度「エコ・ファーストの約束」の進捗状況

## 1 高度循環型社会の実現に貢献します。

結果 ◎：順調 / ○：おおむね順調

### 廃棄物の資源循環的利用の推進

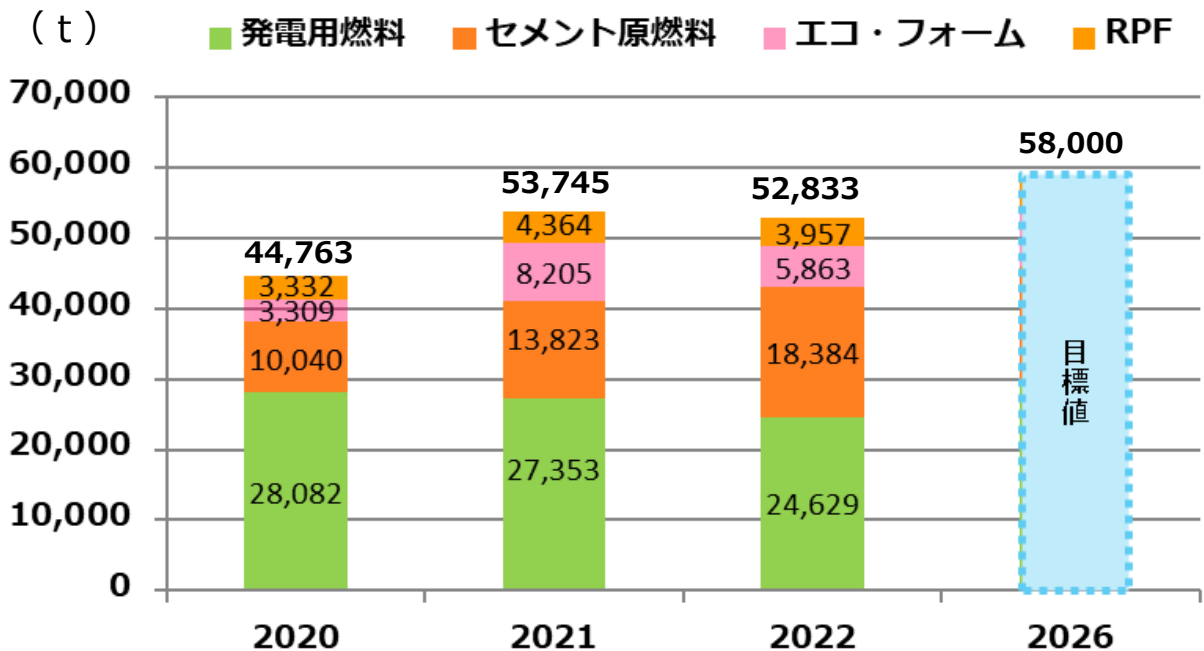
- 全体の取扱い量が減少傾向の中、リサイクルが難しいものに対してもグループ全体で再資源化を積極的に進めリサイクル量は増加しています。建設系混合廃棄物の中間処理施設である川崎RCにおいて2023年2月に、高速光学選別機を導入しました。高速光学選別機を含む選別・破碎設備ラインを導入することで、可燃物の選別力が向上し、品質の高いRPF原料やセメント会社等向け原燃料の製造を可能にすると共に供給量の増産に引き続き取り組んでまいります。

タケエイグループにおけるリサイクル量

**693,210 t**

### 発電燃料およびセメント原燃料の供給量推移

目標値：エコ・フォームやRPFといった製品の製造量を2026年までに2020年比30%増



## 2 脱炭素社会の実現に貢献します。

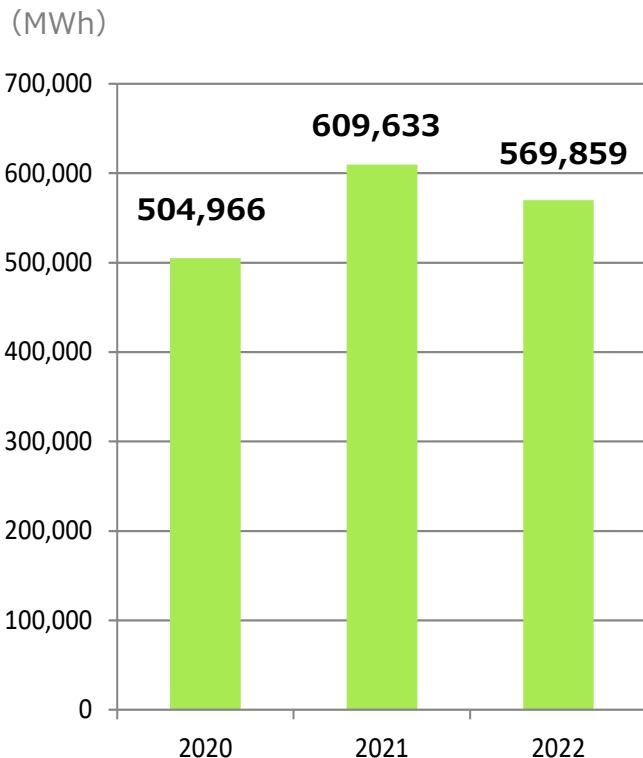
結果 ◎：順調 / ○：おおむね順調

### ◎ 電力小売事業5社統合による「(株)タケエィでんき」誕生

2022年9月にタケエィグループの電力小売会社5社は(株)横須賀アーバンウッドパワーを存続会社として吸収合併し(株)タケエィでんきに社名を変更しました。この合併により、タケエィグループで運営する6発電所の年間発電量(一般家庭約16万世帯分の年間消費電力量相当)を、(株)タケエィでんきを通して一括して取り扱うことが可能となりました。引き続き、建設現場から発生した木くずを木質バイオマス発電の燃料として発電し、得られた再生可能エネルギーを建設現場の電力として総合建設業者や不動産開発業者のお客様に提供する「資源・エネルギーの循環スキーム構築」を推進し、サステナブルな資源循環に貢献します。

▶ 関連情報はTREホールディングス 統合報告書2023 p43~46をご覧ください。

### 再生可能エネルギーの発電量推移



### 山林の保全育成と燃料材安定調達両立に向けた森林経営の取組み

タケエィ林業が岩手県花巻市内に保有する約240ヘクタールの山林について、花巻市森林組合と協同で森林経営計画を作成し、認定を受け、本格的に森林施業を開始しました。この計画に基づき、2022年から2027年にかけて主伐および間伐を行うほか、岩手県が誇るカラマツの植林にも取り組みます。この取組みにより、発電燃料となる未利用材の調達からチップ化・供給、そしてグループ内での発電および売電までの一貫体制を実現しました。林業の再生・活性化に寄与するとともに、限りある森林資源を次世代につなぐ役割を果たします。



花巻市内に保有する社有林



## 3 地域や社会に根ざした環境活動を推進します。

結果 ◎：順調 / ○：おおむね順調

### 環境活動の推進

- ◎ 地域住民や地元行政と連携・協働して清掃活動等の環境活動に継続的に取り組んでいます。また、施設見学は219件（延べ789名）実施しました。

#### 環境教育の取り組み

2022年8月、（株）タケエイ東京リサイクルセンターで親子見学会を実施しました。事業紹介や施設見学後、紙片やプラスチック片を廃棄物に見立て、風や水を使って分別する体験をしていただくなど、実際に廃棄物を間近で見たり触れたりする機会も設けています。次世代を担う子どもたちにリサイクルに興味・関心をもっていただけるよう尽力していきます。



分別体験の様子

#### TRE SDGs 推進財団の取り組み

2020年5月1日に設立したタケエイSDGs推進財団は、SDGsの達成に寄与する活動の推進に取り組んでおり、2022年6月にTRE SDGs推進財団（以下、財団）へ名称変更いたしました。植樹や清掃活動などSDGsの達成に通ずる環境活動に取り組んでいます。

#### ■ 「千年希望の丘」の植樹祭への参加

2022年5月、宮城県岩沼市で（公財）鎮守の森のプロジェクトが主催する植樹活動が行われ、財団と（株）タケエイ東北支店を中心とした社員有志が参加しました。植樹された苗木は成長して人々の命を津波から守る「森の防潮堤」になります。当社グループでは同法人の主催する植樹・育樹活動に継続して参加しており、今後も森の防潮堤へと育ていく苗木の成長に貢献していきます。



植樹する様子

#### ■ 「9月は港区で！ピリカで！SDGs！」キャンペーンの団体部門入賞

環境省と日本財団が推進する「海ごみゼロウィーク」や、港区が主催する「みなとクリーンアップキャンペーン 2022」に賛同し、グループ各社周辺の清掃や各自治体が行う清掃活動に、延べ**740名**が参加しました。9月に実施した（株）タケエイ本社周辺の清掃活動では、「9月は港区で！ピリカで！SDGs！」キャンペーンの団体部門に入賞し、品川駅のデジタルサイネージに放映される環境美化啓発動画にピリカ投稿写真と団体名が掲載されました。

▶ [その他の環境活動はTREホールディングス 統合報告書2023 p.62~64をご覧ください。](#)